
血液透析患者における血清リン値適正化とリン吸着剤(PB)削減のために—チーム医療による介入

医療法人衆和会 長崎腎病院 長崎腎クリニック

○吉野秀章 川口利江 山下万紀子 川内リカ 江藤りか 小峯真耶 河津多代 久原拓哉 澤瀬健次
橋口純一郎 原田孝司 船越 哲

【目的】

血清リン適正化のためのプロジェクトチームを作り、意識調査や啓発活動による血清リン適正値及び PB 減量への効果を検討する。

【方法】

研究期間は 2014 年 11 月から 2018 年 11 月で、PB を内服している当院外来透析患者を対象とした(最終観察時の患者数 268 名)。方法としては 11 名のメンバーで様々な方法を用いてリン値改善への啓発を行い、リン値と PB 処方量を追跡した。

【結果】

研究開始時の患者一人当たりの PB 量は平均 163.0 錠/月であり、チーム活動の強化により一時 PB 量が増加したが、その後徐々に低下傾向となり、最終観察時の PB 量は平均 135.1 錠/月に有意に減少した。血清リン平均値は 5.8mg/dL から 5.6mg/dL に有意に改善した。

【考察】

今回の方法にて 4 年間で PB 量・血清リン値が低下したことより、多職種のメンバーが統一した方法で患者に継続的に介入することは有効と考える。